

AIRDO CHANNEL

「AIRDO CHANNEL」ではAIRDOが力を注ぐさまざまな取り組みを隔月でお知らせします！



〈ウポポイ〉誕生で、北海道とAIRDOさらなる連携へ

4月24日に^{しらおい}白老町に〈ウポポイ(民族共生象徴空間)〉が誕生します。これまで、さまざまな連携を進めてきた鈴木直道北海道知事とAIRDO社長草野晋の対談をお届けします。

photo: Hiroki Inoue, Eri Shimizu

鈴木知事: AIRDOさんとは、平成23年11月に包括連携協定を締結させていただいて以来、道のさまざまな施策にご協力をいただいているところであり、昨年は、「ほっかいどう応援団会議」にもいち早く参画いただきました。

草野: これからも「北海道の翼」として、北海道の食や観光などの魅力を発信していきたいと考えています。

鈴木知事: いよいよ4月24日に白老町に誕生する民族共生象徴空間〈ウポポイ〉についても、機内配布のゲームシートでの紹介をはじめ、社員の皆さまの手による温もりあふれるPR活動をしていただいています。

草野: AIRDOとしては一般公開に向けた機運の醸成に努めるとともに、社員自らが体験した内容をお客様にお伝えしてまいります。

鈴木知事: ご支援ありがとうございます。ウポポイは先住民族であるアイヌ

をテーマにした〈国立アイヌ民族博物館〉とアイヌ文化を五感で体感できるフィールドミュージアム〈国立民族共生公園〉などからなる、アイヌ文化のさまざまな魅力に触れることができる施設です。

草野: その土地の自然や文化をアクティビティとして楽しむ体験型旅行「アドベンチャートラベル」の考え方もつながり、非常に魅力的なコンテンツになりますね。

鈴木知事: 私が手にしているのがウポポイPRキャラクターの「トゥレップオン」です。アイヌ民族が貴重な食糧と



してきたトゥレップ(オオウバユリ)をモチーフにしています。

草野: そうですか。かわいいですね。個人的にもウポポイのオープンをとて楽しみにしています。

鈴木知事: ウポポイ開設をはじめ、東京オリンピックのマラソン、競歩、サッカーが札幌で開催されるなど、本道の魅力を世界に発信する大きなチャンスを迎えていると考えています。引き続き、応援よろしく願っています。

〈ウポポイ(民族共生象徴空間)〉開設に向けた取り組みについて

AIRDOでは、機体ドア横のロゴマーク掲示、機内配布ゲームシートでの紹介、PRキャラクター「トゥレップオン」を用いた就活生向け応援企画など、ウポポイPRのためのさまざまな取り組みを行っています。これからは社員発案による「AIRDOらしい温もりあふれる」PR活動を展開してまいります。